

集計条件について

《集計対象》

令和元年度退院又は転棟した患者

《集計対象施設数》

| 施設類型 | 施設数 |
|-----------|------|
| 大学病院本院群 | 82 |
| DPC 特定病院群 | 155 |
| DPC 標準病院群 | 1487 |
| DPC 準備病院 | 255 |
| 出来高算定病院 | 3164 |

《当該年度出来高算定病院の取り扱い》

集計対象期間内に提出された本データを集計対象（試行データは集計対象除外）。

《震災等の影響による医療機関データの取り扱い》

以下、震災等の影響により提出データの一部月もしくは全月のデータが不足している。

- ・平成 28 年（2016 年）熊本地震による影響
東熊本病院
- ・平成 30 年 7 月豪雨による影響
医療法人仁康会本郷中央病院

《集計条件・公表条件》

次ページ①～⑨（⑤、⑥を除く）は症例数が 10 症例未満および 0 件の医療機関は公表の対象外として、‘－’ マークで表示した。

- (1) 診断群分類を用いた集計および MDC 別集計には、令和元年度診断群分類を使用。
- (2) 下記項目に該当する場合は分析対象から除外した。なお、当該年度において辞退届（データ提出加算辞退届等）の提出を行った医療機関も集計より除外した。

集計条件については下記の通り集計①～⑨の内容により集計の条件を変更している。

| 分析対象外項目 | ①、⑤、⑦、 ⑧、⑨ | ②～④ | ⑥ |
|------------------------|---------------|-----|---|
| 診療録情報の重複提出 | ○ | ○ | ○ |
| レセプトデータの不足 | ○ | ○ | ○ |
| 在院日数 1 日以下 ※1 | ○ | | ○ |
| 外泊 ≥ 在院日数 | ○ | ○ | ○ |
| 年齢 0 歳未満 120 歳超 | ○ | ○ | ○ |
| 入退院生年月日の誤り | ○ | ○ | ○ |
| 1 日当りの点数が 1200 点未満 | ○ | ○ | ○ |
| 自費のみ、保険と他制度の併用及び臓器提供者等 | ○ | ○ | ○ |

| | | | |
|------------------------------|---|---|---|
| 一般病棟以外の病棟との移動（一般病棟以外の入院あり）※2 | ○ | ○ | ○ |
| 24 時間以内の死亡 ※1 | ○ | | ○ |
| 特定入院料なしで入院基本料 0 点以下 | ○ | ○ | ○ |
| 治験の実施 | ○ | ○ | ○ |
| 移植手術あり | ○ | ○ | ○ |
| 平成 30 年度 3 月 31 日以前入院の患者 | ○ | ○ | ○ |
| 厚生労働大臣が定めるもの | ○ | ○ | |
| 生後 7 日以内の死亡 ※1 | ○ | | ○ |
| DPC 該当せず | ○ | ○ | ○ |
| 同日再入院 | ○ | ○ | ○ |

※ 今回の集計においてアウトライヤー処理を行っていない。

《集計表について》

①MDC 別・医療機関別件数（割合）

手術の「有り」「無し」は様式 1 に手術があったものを「有り」として集計。但し、実施した手術が輸血関連手技（K920 輸血、K920-2 輸血管理料および K923 術中術後自己血回収術）のみの症例の場合は「無し」として集計。

②予定・救急医療入院区分の医療機関別・MDC 別集計

様式 1 の予定・救急医療入院区分を集計。

分析対象外項目の「生後 7 日以内の死亡」、「24 時間以内の死亡」、「在院日数 1 日以下」の 3 項目についても分析対象として集計。※1

③救急車による搬送の有無の医療機関別・MDC 別集計

様式 1 の救急車による搬送の有無を集計。

分析対象外項目の「生後 7 日以内の死亡」、「24 時間以内の死亡」、「在院日数 1 日以下」の 3 項目についても分析対象として集計。※1

④入院から 24 時間以内の死亡の有無の医療機関別・MDC 別集計

様式 1 の入院から 24 時間以内の死亡の有無を集計。

分析対象外項目の「生後 7 日以内の死亡」、「24 時間以内の死亡」、「在院日数 1 日以下」の 3 項目についても分析対象として集計。※1

⑤診断群分類毎の集計

出現しなかった項目（件数 0）については空欄で表示。

- ・性別、入院情報（他院よりの紹介等）、入院経路、退院先、退院時転帰の集計については、それぞれ様式 1 の性別、入院情報（他院よりの紹介の有無等）、入院経路、退院先、退院時転帰より集計。
- ・年齢は、「年齢＝様式 1 の入院年月日－様式 1 の生年月日」として集計。
- ・在院日数は「在院日数＝様式 1 終了日－様式 1 開始日＋1－EF ファイルから集計した外泊日数」として集計（その他病棟の入院を含む在院日数についても集計。その際、※2 の条件はその他病棟への入院があった症例も集計対象としている）。

・医療資源を最も投入した傷病 ICD10 集計

医療資源最多傷病 ICD10 の件数の上位 10 の ICD10 コードを表示。(但し、同順位のものについては ICD10 コードの昇順で表示)

・入院時併存症及び入院後発症疾患 ICD10 集計

様式 1 の入院時併存症及び入院後発症疾患から疑い病名を除く ICD10 件数を集計し、ICD10 の件数の上位 10 の ICD10 コードを表示。(但し、同順位のものについては ICD10 コードの昇順で表示) 1 症例に同 ICD10 入力の場合は 1 件とカウント。

・手術集計

K920 輸血、K920-2 輸血管理料、K923 術中術後自己血回収術は集計対象から除外。様式 1 の手術点数表コードから件数を集計し、K コードの件数の上位 10 の術式を表示。(但し、同順位のものについては K コードの昇順で表示)。様式 1 上、手術側数が 3.左右となっていた場合 2 件とカウント。

・主要処置等

集計項目の人工呼吸、中心静脈注射、人工腎臓については EF ファイルより集計。輸血 (K920 輸血) については EF ファイル及び様式 1 より集計。

⑥化学療法のレジメン

悪性腫瘍の疾患 (診断群分類番号頭 6 桁) 別に、化学療法のレジメン別件数、割合、平均在院日数を集計 (上位 30)。

悪性腫瘍の疾患で 100 件に満たなかったものは集計より除外。

レジメン欄の括弧内の数字は上表の薬剤を表す。

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 症例数 | 1694 | 1441 | 744 | 297 | 220 | 109 | 86 | 84 | 82 | 80 | 59 | 57 | 55 | 50 | 49 | 42 | 38 | 37 | 33 |
| 1% | 78.8% | 28.1% | 5.3% | 2.1% | 1.6% | 0.8% | 0.6% | 0.6% | 0.6% | 0.6% | 0.4% | 0.4% | 0.4% | 0.4% | 0.3% | 0.3% | 0.3% | 0.3% | 0.2% |
| 使用レジメン数 | 71 | 47 | 37 | 28 | 19 | 4 | 13 | 5 | 18 | 11 | 3 | 9 | 14 | 8 | 9 | 9 | 10 | 3 | 6 |
| 1% | 37.4% | 24.7% | 19.5% | 14.7% | 10.0% | 2.1% | 6.8% | 2.6% | 9.5% | 5.8% | 1.6% | 4.7% | 7.4% | 4.2% | 4.7% | 4.7% | 5.3% | 1.6% | 3.2% |
| 施設数 | 1207 | 911 | 202 | 93 | 70 | 88 | 28 | 28 | 70 | 67 | 13 | 54 | 26 | 21 | 37 | 32 | 18 | 30 | 30 |
| 1% | 95.5% | 72.1% | 16.0% | 7.4% | 5.5% | 7.0% | 2.2% | 2.2% | 5.5% | 5.3% | 1.0% | 4.3% | 2.1% | 1.7% | 2.9% | 2.5% | 1.4% | 2.4% | 2.4% |

| 順位 | 症例数 | 割合 | 累積 | 施設数 | 割合 | 在院日数平均 | レジメン |
|----|------|-------|-------|------|-------|--------|--|
| 1 | 8420 | 60.1% | 60.1% | 1152 | 91.1% | 25.7 | ゲムシタビン塩酸塩(1) |
| 2 | 2055 | 14.7% | 74.8% | 646 | 51.1% | 31.6 | ゲムシタビン塩酸塩(1)+テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合(2) |
| 3 | 1711 | 12.2% | 87.0% | 663 | 52.5% | 27.9 | テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合(2) |
| 4 | 236 | 1.7% | 88.7% | 88 | 7.0% | 14.2 | ゲムシタビン塩酸塩(1)+シスプラチン(3) |
| 5 | 133 | 0.9% | 89.7% | 31 | 2.5% | 9.9 | イリノテカン塩酸塩水和物(5)+シスプラチン(3) |
| 6 | 123 | 0.9% | 90.5% | 43 | 3.4% | 8.3 | シスプラチン(3) |
| 7 | 105 | 0.7% | 91.3% | 85 | 6.7% | 29.7 | イマチニブメシル酸塩(6) |

⑦疾患別手術別集計

疾患 (診断群分類番号頭 6 桁) 別に手術 (診断群分類番号 9,10 桁目) 毎に件数、割合、平均在院日数を集計。

尚、再掲の輸血以外とは、K920 輸血、K920-2 輸血管理料および K923 術中術後自己血回収術以外を指す。

⑧疾患別手術有無別処置 1・2 有無別

疾患 (診断群分類番号頭 6 桁) 別手術有無 (実施した手術が、輸血関連手技 (K920 輸血、K920-2 輸血管理料および K923 術中術後自己血回収術) のみの症例は「無し」として集計) 別に手術処置等 1・2 有無別に件数、割合、平均在院日数を集計。

⑨MDC 別手術有無別処置 2 の有無別集計

処置 2 が定義されている疾患（診断群分類番号頭 6 桁）を対象に、MDC 別手術有無（実施した手術が、輸血関連手技（K920 輸血、K920-2 輸血管理料および K923 術中術後自己血回収術）のみの症例は、「無し」として集計）別に手術処置等 2 有無別に件数、割合を集計。また、全ての疾患を対象に、人工呼吸、人工腎臓（1：慢性維持透析を行った場合 1、2：慢性維持透析を行った場合 2、3：慢性維持透析を行った場合 3、4：その他の場合）、中心静脈注射があったものについて件数、割合を集計。